

2023年度 初級登山教室 御在所岳クライミング実技5 2023.10.28~29

参加者 講師スタッフ T内・N森・K口・Y田・H谷川

受講生 Y元r Y元a T本

コース 10/28 タイム: 9:30 藤内小屋発→10:30 一の壁→14:20 藤内小屋

10/29 タイム: 6:30 藤内小屋発→7:30 前尾根 P6 取り付け→13:40 P2 取り付

一口感想

T内講師

「一の壁は強風とにわか雨で敗退しましたが翌日の前尾根は天気も回復し、順調なスタートでした。P6の登攀開始から手強い箇所が連続し、P3のクラックではY田さんに助けられてどうにか通過しました。講師としての力量不足を痛感しましたが受講生の皆さんは難所を難なくクリアし、ビレイも合格点です。しし岩などで事前に練習を重ねればもう少しパーティの移動などがスムーズにできたかも知れませんが今後の課題としたいと思います。私自身は指や膝を擦ったり、足もパンパンになってほぼ限界に近くなりました。前尾根もクライミングのゲレンデですがほとんど本チャンですので気が抜けません。マルチピッチではピッチごとのロープの回収と整理をすばやく行うことが時間短縮につながります。自戒も込めて現場ではどうしたらスムーズに登れるか常に意識してクライミングを楽しんでください。」

N森講師

修了山行の御在所岳クライミングですが、初日一の壁は期待に反して雨で満足に登れず、翌日前尾根も晴れたものの上部では強風で苦勞することになりました。僕自身もビレイステーション構築中に突風に煽られて岩からハタキ落とされそうになり、ヒヤッとしましたが、そういったことも含め、受講生のみなさんには本番に近い雰囲気味わっていただけたのではないのでしょうか？そんな中、曲がりなりにも全員が1本のルートをほぼ登り切ることができたのは、大きな成果だと思います。自然は人間の都合で手加減はしてくれませんので、自身の選択の結果は全て自分で負わなければなりませんし、自分自身の身を守れなければ他のメンバーの安全も確保できません。それを念頭に、今後も色々なスタイルの登山に取り組んでいただければと思います。今回は総仕上げに近い形で、新しくお伝えすることはあまりありませんが、受講生のみなさんには、「常に先を読む」ということを心がけていただきたいと思います。特にビレイについては、実際の現場ではなかなか理想通りにいきませんが、それでも「ここでクライマーが落ちたらどうなるか、自分はどのように振られるか」を想像し、少しでもベストのポジショニング、ベストのロープ操作に近付くよう、繰り返し練習を重ねてください。

初級登山教室全体としては、大きな事故もなく無事全日程を終えることができ、本当によかったと思います。受講生に怪我をさせるわけにはいきませんので、講師としてはこの半年間は緊張のしっぱなしでしたが、ようやく肩の荷が下りました。

最初にお伝えしたように、この教室の狙いは安全技術講習です。

その点に関しては、これほど理論的で体系的なプログラムを持った初級登山教室はそう多くないと思います。これだけで十分とは言えませんが、基礎としてはどこでも通用します。今後は、学ばれた考え方をベースに、如何に山のリスクを最小化するかを常に頭に置きながら、山行を楽しんでください。

最後に、この教室は献身的なスタッフのみなさんの協力なしには成立しませんでした。
この点についても、改めて感謝の意をお伝えしておきたいと思います。
みなさん、お疲れさまでした。

スタッフ・K O

都合で初日しか参加できませんでした。しかも天候がいまいちで結局 1 本しか登れませんでした。今回の一壁は初めてでルート取りが良く分からず苦勞もしました。Y元 rさんとペアで組んでセカンドで登ってもらいましたが、恐らく無理？だと思いビレイデバイスの解除&ロアダウンの準備をしていましたが無事に登って来られました。元々のセンスも有ると思います。初級登山教室のカリキュラムが生きてるんだと感じた所でも有ります。初級登山教室はあくまでもきっかけ作りだと思いますので、これからクライミングに傾倒するもよし藪山や沢に傾倒するもよし、但し、もう一步踏み込んで更に勉強して自分の物にして下さい。出来る事なら、後に続く人に継承出来るようにお願いします。わたくし事ですが、来年は小槍～孫槍～槍ヶ岳に挑戦するつもりです。

スタッフ・Y田

クライミングを始めて20年来、前尾根は何度も通ったアルパインルート。
今回の登攀は寒さと停滞で本当に疲れました。
それでも、晴天の秋の日に山に浸って岩と戯れることには喜びを感じます。
このたび登山教室を卒業された方々、どうぞ安全かつ円滑なクライミングで岩登りを楽しんでください。

私の身の回りで起きたクライミングの事故を4例ほど……

- 懸垂下降の際にアンカーがハーケン1本しか取れず、それが抜けて墜落して死亡。(元所属山岳会)
- これも懸垂下降で、投げ下ろしたロープの末端を結び忘れ、下降終了近くでスッポ抜けて墜落。骨折。(私自身)
- フリークライミングでロワーダウンの際、着地するにはロープが足りないことにビレイヤーが気づかず抜けて墜落。打撲。(友人)
- クライミングゲレンデで隣のルートを登ってる人がフォールして岩棚に強打して救急隊員に担架で運ばれていった。(お隣さん)

クライミングはその性質上、どうしても事故が付きまといまいます。落ち着いて正確に慎重に再度確認をお願いします。

スタッフ・H谷川

僕は今回ラストで登りました。で、リードで登れるのか？って話ではなくラストでしか体験できない事をお伝えします。(自分自身初体験)

我々3チームに分かれて登っていたので、その後ろのチームがずっと待っていました。トーゼンの状況です。そこでの話です。我々の次のチームはそれなりに経験値もありそうな方々で、待っている間馬鹿話で楽しく過ごされていました。おそらく我々を急かさないうちにされていたのだと思います。(性善説)そしてその後ろのチームは経験値高め男性と若い女性。その若い女性は僕に、ダブルなら何で二人で登らへんの～と。

僕「初級登山教室やっていて上で講師がセカンド（受講生の方）を上げていますが、安全を考えて念の為 1 人ずつ登ってます」お待たせしてすみません。と。

女性「ふーん。そんなん関係ないやん。2人で登ったらいいやん。何のためのダブルなん？」と。

その後「何時までに帰らなあかん、何時までにやぐらを登らないと何々に間に合わない」とか。やたらと急かしてきました 勿論すみませんの連打です。

僕は怒りもしないし焦りもしない。大事なのは冷静さ。ちゃんとわかっていますよ。

それで次のピッチで若い女性のパートナーが「ルートを変えるので先に行っても良いですか？」と。

流石に僕の前を登る山元さんは追い越さなかったはずですが、問題はその後。

僕が登る時にそのロープが絡む(汗 それを解くのに暫く闘った。(汗)

下を向き絡んだロープを解くのに下の若い女性に「ロープ出して」と言うが聞こえないのか知らん顔。

おいおい、おれがそれでおちたらどーすんねんと。

また、先の男性が万が一落ちた場合、その絡んだロープに引っ張られて僕も落ちるやん。誰が悪いとか悪く無いとかではなく、そんな状況があって当たり前の中で、いかに自分たちの安全を冷静に見極めることが大事かって事を再確認することができました。

長々とすみません それでは皆様、ご安全に！

受講生・Y元r

御在所岳の一の壁では、ハンガーボルトのない箇所もリードクライマーK さんのカムによる支点構築のお陰でスムーズに登攀することができました。

翌日の前尾根では今まで経験した岩とは違う、長くて迫力のある岩を 4 ピッチ登攀でき大満足でした。手がかりのないところでは、ほふく前進スタイルで登る等色々な方法を考えながら登り、正解はわからないけれど自分なりに楽しく挑戦できました。

リードクライマーをはじめスタッフの皆さまのお陰でクライミングの楽しさと安全管理について深く学ぶことができました。

6 ヶ月間、コミュニケーションの面では厳しい場面はありましたが、皆さまが親身になって対応してくださり感謝しています。これからはもっと積極的にコミュニケーションを取り、学んだことを色々な場で活かしたいと思います。

今までどうもありがとうございました。

受講生・Y元a

最後の講習となる御在所岳のクライミングでは、小雨や強風等、そして落ちれば命のない絶壁に自然の厳しさを感じた 2 日間でした。立ち足かかる巨大な壁に絶望し、手がかりが見つからず、風に煽られ足が震え、でも戻ることもできず、前に進むしかないと気持ちを奮い立たせることができたのはリードクライマーが命をかけて支点を構築してくださりそしてロープを通して支えて下さったからでした。登りきった時に 1 番に思ったことは、このルートを私の拙いビレイでリードクライマーが登るのは不安だったのではということでした。パーティの安全確保には確かな技術が必要で、またロープ操作 1 つで登りやすさだったり安心感が変わるということを実感した講習でした。

そして絶大な信頼関係が何よりも大事だと思いました。

この講習を通して自然の厳しさと様々な山の楽しみ方を学ぶことができました。半年間、随所で色々な配慮をしてくださりそしてたくさんの学びの場を提供してくださりどうもありがとうございました。この学びを色々な場で返していけたらと思っています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

受講生・T本

初級登山教室最後の実技、御在所岳アルパインクライミング。のっぺりとした岩場で中々難しい岩場でした。講師、スタッフの方には初めてだったり久しぶりだったりした方もおられた様で、とても大変だったのではと想像します。そんな中で私達受講生を連れていって下さり感謝の気持ちで一杯です。安全に確保する大切さを十二分に教わりました。アルパインは基本落ちてはいけないと教わって来ました。又ンチャクのスリングを挿む Aゼ口、ボルトに足を乗せる、最終手段があることを知って落ちないで安全に登る技術も必要かと感じました。今まで教わってきた事、今回教わった事を元にこれからも精進したいと思います。半年間ありがとうございました。



県連HPに「初級登山教室」に他にも写真をアップしています。